

総務部総務ワークステーション

内山 早紀美

平成14年度入庁

一般行政



Q 1 仕事の内容を教えてください。また、現在の仕事の魅力や、やりがいを感じる瞬間について教えてください。

総務ワークステーションでは、職員の給与や福利厚生等の内部事務について集中的な処理を行っています。私は旅費班に所属し、職員の旅費の確認に係る関係所属との連絡調整や戻入の場合の事務処理、移転料の審査等を担当しています。

内部事務であるため、県民の方と直接関わりがある仕事ではありませんが、遅延が許されるものではありませんので、チームワークで共通認識を持って対応することが求められる仕事です。

Q 2 育児休業を取得する際、周囲の反応はどうでしたか。

妊娠中から上司や同僚の皆さんにお気遣いいただき、産前休暇に入る前の引継ぎも皆さんのフォローのおかげで円滑に進めることができました。

Q 3 育児休業中の職場のサポート体制はどうでしたか。

提出が必要な書類の情報を郵送していただいたり、不明点は電話で対応していただきました。

Q 4 職場復帰への不安や心配はありましたか。

産前産後休暇を含めて、丸2年職場から離れていたため、制度やシステムの変更に対処できるのか不安がありましたし、仕事の勘をすぐに取り戻すことができるのかという心配もありました。

Q 5 復帰時の職場のサポート体制は整っていましたか。

育児休業取得前と同じ班に復帰させていただき、業務配分にも配慮していただいています。

私が育児短時間勤務であり、勤務時間が短い中で、打ち合わせや情報共有の場を整えてくださった上司や同僚の皆さんのサポートがあるため、職場復帰して仕事ができています。

Q 6 復帰後に苦労した出来事や、仕事と育児の両立について工夫されていることなどについて教えてください。また、活用した（している）制度があれば具体的な名称も記載してください。

【活用した（している）制度：育児短時間勤務制度】

復帰してしばらくは、子どもの体調不良により、仕事を早退して保育所へ迎えに行かなければならなかったり、急に仕事を休まなければならなくなったこともあり、担当業務を思うように進めることができず、苦労しました。

そのため、仕事をする時には、その日に終わらせる業務を意識しながら集中して行うようにしています。

Q 7 育児休業取得前と後で、仕事をする上で変化したことはありましたか。

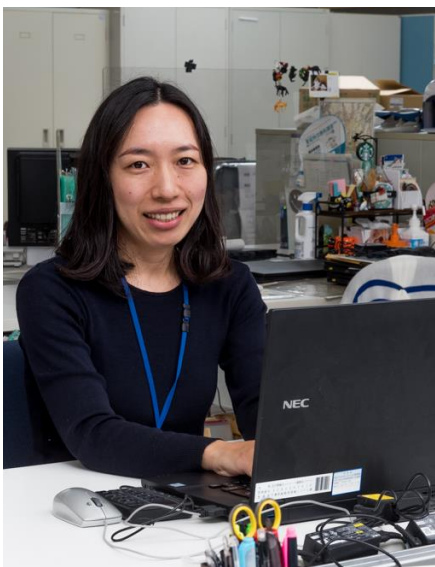
育児休業取得前から意識していなかったわけではありませんが、勤務時間が短く、また、いつ子どもの体調不良で保育所から呼び出しがあるか分からないため、いかに効率的に仕事を進めるか優先順位をより意識して取り組むようにしています。

Q 8 休日や退庁後などのリフレッシュ方法を教えてください。

仕事のことは忘れて、子どもと遊びます。子どもといる時は、仕事のことを考える隙がないということもあります。

Q 9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

育児の経験は、かけがいのないものであると感じているため、まずは子どもの成長にしっかり関わりつつ、今後は、育児経験が活かせる業務にも挑戦してみたいです。



Schedule~わたしの一日~

6:30 起床	17:00 保育園お迎え
7:00 朝食	17:30 お風呂
7:30 家事	18:30 夕食
8:45 保育園に送る	19:30 家事
9:50 出勤	20:30 寝かしつけ
16:00 退庁	23:00 就寝